



花火・火遊びによる火災防止

花火は楽しく安全に遊びましょう

夏の風物詩でもある花火は見てもらっても楽しいものです。しかし、ルールやマナーを守らなければ思わぬ火災や、やけどを負うなどの事故につながります。

花火で遊ぶ時の注意点

大人と一緒に遊びましょう

子どもたちだけで花火で遊び、事故を起こした例が少なくありません。大人が積極的に参加して花火の正しい遊び方を指導してください。



水バケツを用意しましょう

終わった花火は水バケツにつけましょう。火災の危険を防ぐだけでなく、燃えカスなどで庭や道路を汚さず片づけることができます。

ご近所の迷惑にならないようにしましょう

住宅街で花火をするのは、ご近所トラブルの原因にもつながります。人の迷惑にならない時間と場所を選んで遊びましょう。

やけど・熱傷をしたら

応急手当の方法

▽できるだけ早く、水道水などの清潔な流水で患部の汚れを落とすとともに十分に冷やします。



▽衣類を着ている場合は、無理に服を脱がそうとせず衣類ごと冷やします。

▽氷やアイスパックを使って長時間冷やすと、冷えすぎてしまい、悪化することがあるので注意しましょう。

▽火事などで煙を吸ったときは、やけどだけではなく肺が傷ついている可能性があるため、医療機関に行く必要があります。

▽やけどが大きい場合は、すぐに119番通報をしましょう。

電気器具の安全な取り扱い

電気器具・配線は発火する危険があります！定期的に点検・清掃をしましょう。



電気器具・配線からの出火による火災も毎年発生しています。少しの注意、点検、清掃によって火災は防ぐことができます。

次のような原因で火災は起こっています

- ▽電気配線の短絡（ショート）
- ▽トラッキング現象（コンセントとプラグの隙間のホコリが湿気をふくみ発火する現象）
- ▽過電流
- ▽電気器具の消し忘れ
- ▽電気器具の近くに燃えやすいものを置いていた

【対策】

下記のことから始めましょう！

- ◎傷んだコンセントは使用しない
- ◎コンセントの上に物を乗せない
- ◎電源プラグ付近のホコリを取り除く
- ◎タコ足配線をしない
- ◎コードを束ねない
- ◎古くなった家電製品は業者に点検を依頼する

電気火災は、基本的に建物内で起こる火災です。一度起これば消すのは困難となります。起こさないために何が出来るのか？それは、少しの注意と点検と清掃です。簡単なことから実践し、火災予防に努めましょう。

問合せ先 丹羽広域事務組合

消防本部 予防課 ☎ 95-5158

— 普通救命講習会 —

日時 8月16日（土）

午前9時から正午

場所 丹羽消防署 扶桑出張所

申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署 ☎ 95-5151

大口出張所 ☎ 95-0119

あなたのお手元に災害時の緊急情報をお知らせする！

防災・防犯メール配信サービス

あんしん・安全ねっと

携帯電話からの登録方法 携帯電話から下記メールアドレスへ空メールをお送りください。送信された携帯電話のメールアドレスあてに「本登録」の手順をご案内します。



oguchi@entry.mail-dpt.jp

※迷惑防止のためのドメイン指定が必要な方は town.oguchi.lg.jp、アドレス指定が必要な方は bousai@town.oguchi.lg.jp を許可してください。